

# わたしたちの園では こんな日々を 目ざしています

キリスト教保育連盟  
出版委員会

この花のように美しい心を  
神さまください小さなわたしにも

この花のように 人々を愛せる  
心をください小さなわたしにも  
『幼児さんびかIIより』  
(キリスト教保育連盟発行)

## ☆ 一人ひとりを大切に

子どもたちは、神さまから命を与えられ、  
愛されているかけがえのない存在です。  
その個性と人格をありのままに受けとめ、  
尊重することが、保育の第一歩です。  
信頼関係を築くなかで、  
子ども自身が自分を信じ、  
自分らしい歩みをはじめることが出来るように、  
絶えず応援したいと思います。

## ☆ 知りたい、やってみよう

子どもが夢中になって、いきいきと遊ぶことは、  
“生きる力”に大いにつながります。  
工夫したり、悩んだり、  
納得するまで繰り返すなかで、  
思考力や想像力、そして、“意志”が育まれます。  
ですから、好奇心や探究心を大切に受けとめ、  
子どもと共に心を動かす保育を  
していきたいと願っています。

平和を実現する人々は、幸いである、  
その人たちは神の子と呼ばれる。  
マタイによる福音書 5 : 9



## ☆ 友だちっていいな

友だちと遊ぶなかで、子どもは自分と  
他者との違いを知っていくことでしょう。  
たくさんのぶつかりあいや葛藤を通して、  
悩み、考え、やがて理解し合い、  
“共に生きる”ことを学んでいきます。  
認め合い、力を合わせることの楽しさ、  
喜びを味わうまでの“道すじ”を  
大切にしたいと思います。



## ☆ 神さまの恵みを知り、世界に目を向ける

自然の美しさや不思議さに気づき、  
その恵みに感謝する心を育みます。  
けれども、世界に目を向けるとき、  
現実には人と自然との関係や、  
国と国との関係に多くの課題があります。  
人と自然との調和、世界の平和に、  
私たちがどう貢献できるのか、共に祈り、考え、  
やがて行動できる人になりたいと願います。